

## 令和5年度 第3回 学校運営協議会（記録）

1 日時 令和6年2月21日（水）15：00～17：15

2 会場 宇部中央高等学校 会議室

### 3 出席者

- ・学校運営協議会委員7名（13人中）
- ・学校関係者：全日制教頭、定時制教頭、事務長、地域連携担当、CS サポーター

### 4 進行状況・記録

(1) 校長挨拶

(2) 副会長挨拶

(3) 配布資料確認、諸連絡

(4) 代表生徒による探究活動成果発表「宇部から未来につながる食育」

質疑応答

- ・こども食堂のメニューは、誰がどのように考えているのか。  
→西法寺の活動に参加した際は、活動の運営をされているボランティアの方が考えた。フードバンクや寄付で集まった食材を基に、栄養のある食事が作られている。
- ・この探究活動はどのような面で貢献しているのか。また、目的は何か。  
→SDGs で掲げられた12の目標のうち、3番目の「すべての人に健康と福祉を」という目標に準じた探究である。すべての子ども達に栄養のある食事をとってもらうことを目標にしている。

(5) 協議（副会長が議長となり進行）

学校評価について（全日制教頭・定時制教頭）

委員からの意見等

(ア) 全日制

- ・教務 学校評価B
  - 生徒の学習習慣の確立とともに、教員の授業改善が求められている。ICT を積極的に活用するなど、より分かりやすい授業を作っていくことも大事である。
- ・情報推進課室 学校評価B
  - ICT を活用することで、確認作業や返却作業などでかえって業務時間が増えてしまうのではないかと懸念がある。
  - ICT に対して苦手感をもつ教員のためにも、継続的な ICT の研修が必要である。
  - 10年後、20年後の AI 社会を見据え、生徒の ICT 活用力・情報活用力を育むために、学校全体で積極的に ICT を取り入れるべきである。
- ・生徒指導 学校評価B
  - 人権に関する面からしても、全体で身だしなみ指導を行うのではなく、適切な身だしなみについて生徒自身が考え、行動するような指導が好ましいと考える。中学校では、身だしなみの一斉指導は取り止めた。
  - 生徒が社会に出た時のためにも、あいさつに関する指導をしっかりと行っていただきたい。大学に入学してきた宇部中央高校の卒業生たちはよく挨拶をする。
  - 多様な価値観や生まれ持った容姿を認め、区別しないという考えを学校から発信していくべきである。
- ・進路指導課 学校評価B
  - 自習できるスペースの確保が難しい中、学校の自習室が開放されていることに大変感謝している。職員室前に教員が生徒の質問に答えるスペースが設けられていることもよい取り組みである。
- ・総務課 学校評価B
  - 連絡事項は、メールなど全てシステム上で行うのが良いのではないかと。業務改善にもつながると考える。
  - 生徒が保護者を PTA 総会に誘いやすくなるような取り組みがあると、保護者の出席率が上がるのではないかと。
  - PTA 総会後の保護者会において、クラスや年次の教員だけでなく部活動顧問と話す機

会があると出席者が増えると思われる。

○日常生活の中で、予定表は紙で配布される方がありがたい。

・保健環境課 学校評価 A

○学校の花壇や環境などが整備されており、いつも感心している。

・社会連携教育 学校評価 A

○スマホ教室に本校の生徒が参加してくれ、学校と地域がつながっていることを強く実感した。大変よい取り組みであると考えている。

・業務改善 学校評価 B

(イ) 定時制

○委員から、生徒の平均年齢、卒業後の進路、新たな行事や復活した行事に関する質疑が行われた。

・学習指導 B

・生徒指導 A

・進路指導 A

・特別活動 B

・業務改善 A

(6) 綱紀保持に関する取組について(校長)

(7) 閉会行事 校長挨拶